

令和4年度退職教員の紹介

部 局 名	大学院工学系研究科・工学部	
氏 名	鹿野田 一司	
職 名	教授	
本学在職期間	平成9年4月～令和5年3月	
所 属	物理工学専攻 超伝導量子物性工学講座	
専 門 分 野	低次元分子性物質の物理学	
略 歴	<p>昭和56年3月 東北大学工学部原子核工学科卒業</p> <p>昭和61年3月 京都大学大学院工学研究科博士課程原子核工学専攻修了</p> <p>昭和61年4月 京都大学化学研究所研修員</p> <p>昭和62年3月 京都大学工学博士</p> <p>昭和62年4月 学習院大学理学部物理学助手</p> <p>平成3年4月 岡崎国立共同研究機構分子科学研究所助教授</p> <p>平成9年4月 東京大学大学院工学系研究科助教授</p> <p>平成11年12月 同教授</p> <p>(平成19年1月～平成20年12月 東京大学低温センター長兼任)</p> <p>(令和3年4月～令和5年3月 同低温科学研究センター長兼任)</p>	
研 究 内 容	<p>鹿野田一司・宇治進也（編著）『分子性物質の物理』、朝倉書店、2015年</p> <p>F. Kagawa, K. Miyagawa and K. Kanoda, 「Unconventional critical behavior in a quasi-two-dimensional organic conductor」『Nature』436 (2005) pp.534-537.</p>	